

●医療・介護・障害者福祉についてうかがいます

N.社会保障の財源確保を理由に消費税増税が検討されています。どう思いますか

- ・ちゃんと使ってくれるなら。(70代)
- ・本当に必要なものに使われるならば。(30代女性)
- ・ブランド物など高価物限定で。(30代女性)
- ・これが一番公平(本当は売上税の方がいい税金だった)。もちろん事業益にならないように制度を整えてから。(40代女性)
- ・収入に応じて。(男性)
- ・社会保障が確実に充実するなら。(40代女性)
- ・しょうがないのではないのでしょうか?(60代女性)
- ・しかたないのでは?(70代女性)
- ・増税しても良いが非課税者には考慮する。(70代女性)
- ・ただし、今の税金の使い方を改めることが先です。※米軍基地、思いやり予算、軍事費、大企業の減税……公共事業(ダム道路など……) etc (30代男性)
- ・ただし、満足の行く社会保障が約束されるなら。(20代)
- ・だが高齢者ばかり良い暮らしをするのはどうかと思う。(男性)
- ・正当に使われるなら。(40代女性)
- ・ただし、食料品等生活必需品は免除せよ。(50代男性)
- ・増税分保障してくれるのなら。(60代女性)
- ・年金に回すべき。(70代女性)
- ・やむを得ない(30代男性)
- ・本当に有効に利用されるのならば。(50代女性)
- ・ただし、生活必需品ではなく、まずは高級品・ぜいたく品に対しての導入にすべき。(30代女性)
- ・本当に社会保障に使われるなら増税は仕方がないことです。(30代女性)
- ・社会保障に限定してのみ。(50代)
- ・きちんと使われるのであれば。(40代女性)
- ・無駄を省いたうえでの増税は納得できる。(男性)
- ・とはいかないが当然です。誰が持つのですか。かかるものは国民が皆で(平等に)負担する必要があります。日本の現在の借金を次世代に持ち込むことは極力さげたい。(70代 男性)
- ・ある程度は仕方がない。どこまでも賛成というわけではない。(男性)
- ・ただし所得税、住民税の見直しとセットで。
- ・8~10%にすべき。ただし、アップした分は福祉目的税とすべき、かつ生活必需品(食品)等は5%に据え置きすべき。

- ・賛成というか仕方ないと思う。(20代女性)
- ・財源がなければ不可能。ただし、目的税として。
- ・消費税以外の税をあげると失業者が増える。税金が足りないと高齢者や女性や障害者といった肉体的弱者が捨てられると思う。(30代女性)
- ・仕方ないと思う。(60代女性)
- ・国の借金が増えるから今の若い人は夢がなくなる。(70代女性)
- ・ムダ排除が先。(50代男性)
- ・いろいろまだ削るところはあると思う、政治家のボーナス、あとは、はこもの。(30代男性)
- ・食品にはかけない。(60代女性)
- ・相続税や所得税など、いろいろ他にもあると思う。(20代男性)
- ・ちゃんと活かされているならいいのですが、現状を見る限りとてもそれが感じられないので、これ以上増えるのは嫌です。(20代女性)
- ・国家公務員の人数を減らしてから増税してほしい。(30代女性)
- ・奢侈品、毛皮、宝石、高級車などの税率を高くすればいい。タバコの税率をもっと高くすべき。(30代女性)
- ・生活必需品(食料品等)、贅沢品を分けるべき(60代女性)
- ・消費税ではない税から増税してほしい。高額なものを買うときに税をつけるのはよいアイデアだと思う。(男性)
- ・ムダ削減が先。(60代男性)
- ・消費税は業者から国に納入されないものが多いといわれているがどうなのですか?そのシステムを改善しない限り、反対。(50代女性)
- ・どう使われているか分からない。(50代女性)
- ・まず、公務員をリストラして下さい。皆さんヒマそうですよね。区の施設の方は……。ああいうのは、ボランティアで良いですよ。無駄をなくした上での増税はあります。(20代女性)
- ・せめて食費には税をつけてほしくない。高級なものにたくさんつけばよい。
- ・私など生きていけない。ずーっとずーっと働いてきましたよ。(女性)
- ・消費税増税分すべてが社会保障にまわされて、使い道をすべて公開すればよい。必要分なので、その視散文だけ増税するのなら、米国のように6.5%、または8.5%という税率もあると思う。計算しやすい、キリがないという理由で10%などというのはおかしいし、食品生活必需品(トイレットペーパー、オムツ etc)は消費税をかけるべきでないと思う。(40代女性)
- ・要介護者に対しては安住の環境を与えて下さい。
- ・年金生活では介護を必要としても介護料を支払う余裕がないので長生きしたくないと思っている。(70代女性)
- ・無駄な予算を廻せばよい。しかし人によって何が無駄かは一定ではない!(80代以上男性)
- ・この不景気な時期に増税は反対だが社会保障に本当に使われるならしかたないのか。(80代以上女性)

- ・国民的合意が必要。
- ・本当に社会保障の財源であれば良いが一般会計予算として意味なく使われるのであれば、反対。
- ・まだ現時点では。(30代男性)
- ・10%未満ならやむをえない。(30代男性)
- ・最初の消費税のときもそういう理由だったの?実際にはどうなったのか。(60代女性)
- ・正当に見える理由をつけて増税してきたがまともに使われている形跡がうすい。(20代女性)
- ・無駄遣い等をなくすことが条件(天下り、役人への給料(高額すぎる、役人の人数が多い…等)。(30代男性)
- ・食料品にかけないで。
- ・基本的には増税もしかたないことと思うが現状は仕事量が多いし、収入も低く、医療介護福祉のことが良く考えられない。(30代男性)
- ・消費税から食料品は除外し、一部(高級者)に物品税をかけた方が良い。(50代女性)
- ・ものによっては増税もやむなし。(女性)
- ・どうしても増税必要であればしかたがない。私自身は増税ないほうがいい。(男性)
- ・所得税+消費税で。(30代男性)
- ・増税はイヤよ。でも困り果てている人たちはどうなるの~?(40代女性)
- ・アメリカのように食品に消費税をつけない。(男性)
- ・国の財政を徹底して無駄をなくし、それでも財源がなければ増税しても良いと思う。(注)無駄→客観的なもの。(80代以上)
- ・(純粋な)社会保障にのみ使用するなら増税賛成。日用生活品以外の物品に増税するなら。(女性)
- ・それでよくなるのなら仕方がない。(男性)
- ・日用品を除けば賛成です。(50代)
- ・必要と思いますが、一律でなく食品など生活必要などは低く、高額商品などは高くすれば賛成します。(女性)
- ・ただしなんでも上げるのはよくない。重税などを廃止した上でのこと。(40代男性)
- ・増税するのであれば、食品に課税は反対。(男性)
- ・予防医療への助成があると良い。(30代女性)
- ・無駄をなくし、やむをえなければ。(60代男性)
- ・他に無駄を省いても足りないのならばしかたないと思う。(30代女性)
- ・利用目的がうやむやになってしまうことが不思議。(女性)
- ・私も事業をしている時は消費税は何千万も支払って来ました。(女性)
- ・高級品、タバコ等に限って増税賛成。(40代女性)
- ・いくら増税してもどこかに消えてしまう。もっと事業仕分けをして無駄を除くべき。埋蔵

金はまだある。(60代)

- ・他に方法はないのか?(女性)
- ・他国より日本の消費税は安い。消費力が有る人に消費(買い物)するとき税を徴収すればよい。(30代女性)
- ・必要最低の項目は除外してなら賛成。(80代以上女性)
- ・税収不足で仕方ない。(10代男性)
- ・設問が不適切。(80代以上男性)
- ・私たちが後期高齢者になったとき、現在の高齢者の年金・医療・介護のサービスを受けていると同様に受けられるのか心配です。(50代女性)
- ・格差について考えるべきである。低所得者に希望を!(60代男性)
- ・財源確保を理由での増税はだめ。必要な増税ならOK。
- ・65歳以上は働かなくとも良いとかそういった制度ができるのであれば増税も仕方ないと思う。(50代女性)
- ・少なくとも、増税は反対です。(70代女性)
- ・本当に社会保障に使われているのであれば、賛成ですが、信じられない。(40代女性)
- ・ぎりぎりまで税の無駄遣いをなくし、それでも財源が不足しているならやむを得ない。(40代女性)
- ・無駄を省も足りなかったらやむを得ない増税も。
- ・三ツ木、大田に助けられているが……。 (60代女性)

医療・介護・障害者福祉について心配事などお聞かせください

- ・戦後、0から世界の経済大国にのし上げた世代を軽視するな!60歳代以下は食いつぶし世代だぞ。(70代男性)
- ・老人ホームの悪徳業者は死刑にあたいする。(60代男性)
- ・団地内に息子夫婦、娘もいますので公的な援助を受ける範囲が少なくなるようです。迷惑をかけたくありません。(80代以上女性)
- ・年金で生活ができる高齢者住宅が品川区は少ないので建設してほしいです。(60代女性)
- ・病気になったときの不安は大変なものです、費用面入院病院からの追い出し、リハビリの期間。(70代女性男性)
- ・老老介護支援を充実するように願いたい。(70代)
- ・財源を考えると、国会議員や地方公務員の数及び、年収と生涯給与や年金の民間との格差を明示公開し、格差を是正すべき。一般会計と特別会計の明示とチェック。(60代男性)
- ・失業中の最大の支出が、医療保険人年金、昨年の収入でかかってくる税金。失業中の減免や猶予政策をしてほしい。(40代男性)
- ・医療費の中で検査両党、よくわからない項目が多く、どれで請求されているのかよくわからない、子どもだと窓口支払がない場合確認する事もできないので不正請求されてないか

心配になることもある。(40代女性)

・国民負担のためか印刷等、事務費に費用をかけすぎ、やってあげる式で、弱者の立場には真に立っていない。(70代男性)

・平等性のあるものに税がつくのは当たり前。特定の物はずすのに反対。筋の通った使い道を明示すべき。(女性)

・高額所得者や、大企業の税率を下げたままでの消費税増税は反対である。最高税率を以前の状態に戻してほしい。それでも歳入が不足するというならしょうがないが。(男性)

・八潮南小(跡地に)に高齢者施設を早急に設置願いたい。(男性)

・納得した上での増税ならばしかがないです。(女性)

・高齢者を社会の厄介者のように扱うあり方は危惧を感じる。この国は既に高齢長寿社会になっているのだから。障害者自立支援法は自立支援という名の強制に見えます。消費税増税には必ずしも反対はしないが。税率アップの具体的根拠をきちんと示すべき。何%あげれば医療福祉行政にどう反映されるのかをはっきりとわかりやすく明示してほしい。(男性)

・細かいことを言えば、全部心配ですが単によしというわけにはいきませんし、本当に必要であれば、消費税も大賛成です。反対するばかりでは成長になりません。(女性)

・年金生活者には税金保険を課すべきではない。(70代男性)

・うわさで聞いたことがあるのですが、病院(医師)等で級が違って、重度程ではないほうが少し多く手当てをもらっているとのことで、やはり役所の方がきちんと一軒ずつ状態をチェックしたほうが良いのでは?(40代女性)

・友人が半身不随で入院していますが、30日ごとに病院を転々としています、友人は家族がいるので大変ながらそれにも応じられますが、我が身にそういうことが起こったら一人なので心配です。(60代女性)

・自分が『高齢者』になる30年後の行政がどうなっているか想像すらできないので、自分の老後の計画も立てられない。(30代女性)

・予防注射等、港区では無料と聞きましたが(インフルエンザ)品川区とどうしてこんなに違うのか、と思います。(60代女性)

・医療ケアや介護ケア、障害者にとって利用できるサービスを受けることが常に必要な本人、そしてその御家族たちが普通の地域でのくらしをできることを望む(あまりに選択肢が少ない、あるいは暮らしを制限されてしまうのが現状だと感じているので)。(40代女性)

・大企業にもっと儲けてもらって、日本株式会社で対外的にビジネスを私企業だからという前に国として援助して、もうけて雇用も増やして給料も高くなるように中小企業ばかりでわ高給が取れない。(70代)

・私たち若い世代では将来年金がもらえなさそう。(30代女性)

・お金がない人からお金をとり、病院など行きづらくなった。(20代女性)

・父が荏原ホーム(特養)に入所しておりましたが、数多くの問題があり、品川区役所、高齢者福祉課3係に相談したところ、I氏(女性)に対処を支持され、自宅で介護となりました。

同居の母(82歳)の介護申請書を要求したところ、同じく3係、W氏(女性)に母の身体状況を理由に申請書郵送を拒否されました。申請書を区民に渡さないということが許されるのでしょうか?認定ではありません、申請書です。身体状況も個人の特徴であるにもかかわらず、多くの人がある区役所の電話で大声で話す有様です。I氏においては脳梗塞の後遺症のある82才の母に、「財産はないのか?」「何で生活しているのか?」等、第三者が同席しているにもかかわらず、「調べればわかることだ」「心配な所に何故入所させておくのだ」との発言があったそうです。そのため、特養に入所していた父(87才)、母(82才)を、会社を退職し区役所の指示により自宅で介護していました。特養を退所させ、遂に『特養に優先的に入所できる条件』に区役所が指導することは許されるのでしょうか?父がなくなり母が医者死亡診断書を持って、区役所出張所へ行ったところ「大井町本庁でなければ受け付けられない」と言われ、区役所、高齢者医療係に行ったところ「こんな物は見たことがない。『死亡届』をもう一度医者を書いてもらい、提出しろ」とのこと。「自宅にはまだ父の遺体がある状態で、母にとっては片道1時間かかる医者のところへはもう行けない」と言うと、男性職員が出てきて「この用紙に書いて下さい」といとも簡単に死亡届の用紙を出してきたそうです。自分の仕事の意味、自覚が全くない人間、人を人と思わない人間は必要ないのでは?(50代女性)

- ・介護料を払っていても介護をきちんとやってくれますか。(男性)
- ・総合的判断をする材料資料がない。
- ・消費税=社会保障が確立されれば将来が安心です。現在は将来の社会保険料負担増、年金減で不安が大きい、早くしっかりした基盤が必要です。(男性)
- ・食品等、生活に直接関係するもの意外であれば消費税増税には賛成、また、税金に対して、何にいくら使ったのかをもっと国民の目線に立って子どもでも理解できる程度での、万人が理解できる説明をしてほしい。(男性)
- ・子ども手当がほんとうに継続して正規の金額で支払われるのか。(女性)
- ・情報提供が少なすぎる。わかりやすく利用しやすい福祉を心がけてほしい。すでに亡くなっている祖父は、区から敬老の日のお祝いをもらえると信じていたが一度ももらえなかった。母がその年になり知ったのは、その地区での年寄りの会に入らないとお祝いのカードもお金もらえないことだった。とても寂しそうだった祖父を覚えている。(男性)
- ・無料とは言いませんが70歳で1割負担にすべき、子どもが無料は信じられない、今まで年令の高い方は国のため頑張ってきたのに。共産党はもっと強く意見を言って下さい。イライラしてきます。正しい。応援しているのに!(女性)
- ・日雇いで厚生年金がないため、将来が心配です。
- ・高齢者が金銭的に困らない社会にしてほしい。いきいきと老後をすごさせてあげたい。
- ・母親の介護のために兵庫県川西市へ行っていますが、品川区と比べて税金が貧困であるにもかかわらず、市民サービスが非常に良い。品川区は税金のムダ使いが多いのではないですか(費用対効果を考えてもらいたい)。(70代男性)

- ・障害者が働く、作業所の賃金を上げるべき。(40代男性)
- ・大切な税金がしっかり使用されるのであれば良いが、困っている人を助ける窓口を増やしてほしい。
- ・税金の徴収元を間違えている。お金はあるところからとればいい。ないところから無理やり取るのはおかしい。(30代男性)
- ・増税により、確実な社会保障の充実が予想される政策があるのであれば増税も可。(生活費の積立と同じで先々のためになるかどうか重要)先ごろまでの年金費用の使われ方は、子どもの積み立てをちょっと目を放した隙にのんべえおやじに酒代やらパチンコ代に使い込まれているような不正がありました。(40代女性)
- ・費用負担システムの問題ばかりを議論するのではなく、サービス内容を手厚くする検討もしてほしい。
- ・①子ども手当を幼稚園の増設に向けるべし。②増税分は特養施設等の建設にも振り分けて、還元すべし。(80代以上男性)
- ・私は精神障害2級です。いつ発症するかもわかりません。月2回通院していますが、1割負担で助かっています。3割なら通えません。(女性)
- ・消費税をはっきり医療・介護・障害者福祉につかっていることを国民に示す。(60代男性)
- ・高齢者が一人のときは心配。(10代)
- ・後期高齢者の医療費無料化の声がありますが、私は反対です。タダなら暇つぶしに病院に行く人が増えるだけです。少しでもお金を払ったほうが感謝の気持ちが増えると思います。(30代女性)
- ・特殊法人への12兆円を振り分ければ増税しなくとも可能だと思う。(男性)
- ・噂によると入院しても40日で病院を出なければならぬとのことですが、このことがわからない。(男性)
- ・サービスは充実してもらいたいが、負担は少なくとは万人の望むところ。情報を集め公開して、不公平感を無くす努力をする。民は乏しきを憂えず、等しからざるを憂う。(男性)
- ・うつ状態でパートをして生活している。病気が治るまでの生活支援がほしい。(40代)
- ・年々年寄りが増えるが子どもが少ない。どこに負担が来るのかと思うと税金なのか。(40代女性)
- ・入所方法が分からない。年金差し引き、取めているだけ。いざという時困ります。(男性)
- ・わからず。どれくらい利用料を支払っているのか。(50代女性)
- ・大規模施設ばかりだが、市民が行う、個人の施設もやりやすく税制を決めて地域の使節に気軽に利用できるようにする。(60代男性)
- ・父は昨年夏に亡くなりました。76歳。後期高齢者医療費も払い、介護保険も払い、結局病んだのが1年弱だったので、なにもサービスを使うこともありませんでした。なんだかとられ損のような……。 (40代女性)
- ・医療費が高くて、病院へ行かなければ行けないが我慢している。だから苦しくて辛い。痛い。

(60代女性)

- ・サービスの規制が多い。介護保険はいらない。措置制度のほうがまし。
- ・私は今抗がん剤の治療を受けておりますが、治療費が高すぎる。低所得者は医療が受けられない。(60代男性)
- ・一人暮らしなので病気になったときに心配です。(男性)
- ・医療、福祉に使って、はっきりと福祉税とする。(60代)
- ・お金を持っている人=健康だと思う。(増税反対)だが、税金を増やしてもいいので医療費を限りなく0にしてほしい。(20代女性)
- ・平等ではないと感じます。(40代女性)
- ・日本は介護に税金を投入するよりも子どもを増やす方向へ投入すべきだ。今ならまだ間に合う。財源確保は50%を消費税、その代わり50%は特別会計や天下りをつぶして捻出。出なければ消費者への増税は認められない。議員や役人も身を削るべき。(20代男性)
- ・介護の人は足りていないという印象を受けています。増加できるような対策をうってほしいです(貸金増加等)。(20代男性)
- ・主人も死亡して子どももない者にとってこれから高齢者になっていくのに医療費や高齢者施設への入居等の心配があります。(50代女性)
- ・今の所、80才の主人は介護サービスを受けずにおります。としを取りますと医療にかかる頻度が高くなります。それなりの負担は仕方のないことです。でも消費税は毎日の生活にかかってきます。増税反対です。(70代女性)
- ・食品を抜くべき。(女性)
- ・所得制限はあっても高齢者医療費無料を希望します。財源は大企業優遇の税制などから→あまりよくわからないのですが……。不明)
- ・申請から許可が出る迄、時間(日数)がかかり過ぎる。(80代以上)
- ・老々介護やひとり暮らしのお年寄りが多すぎて、全て行政でということは不可能ではないか?子どもにも生活があるといえども負担をのがれすぎているのでは??(女性)
- ・全て税金がキチンと使われているのか、否かにかかっていると思う。キチンと使われていても不足なら払うべきですし、ムダに使われているならとんでもんsいことだと思う。(60代女性)
- ・区役所の高齢者相談窓口はどうも区民の方に顔が向いていない。高齢者を介護する者にも「66才など若いだから自分で介護せよ」という態度。実態を知ろうとしないのでは。(80代以上女性)
- ・今は自分で何でもできますが、この間西大井ヘルスケアタウンの見学に参加して待機している人が100人もいるそうで、もし入れるにしても経費が高く要介護が4とか5でないと入れないそうで心細い話ばかりでした(70代)
- ・男性はタブー視したり障害者差別にすり変えたりせずに堂々と議論願います。Nは止むを得ないということです。(50代男性)

- ・大企業優遇をやめる。(男性)
- ・働きたくても働けない。
- ・医療費より薬代のほうが高額では?開発費など含まれていると聞いたことがあるが?(70代)
- ・自宅でできる仕事がしたいです。(80代以上女性)
- ・社会保障に使うなら、増税も仕方ない。年金がもらえるかわからない中での負担はもう勘弁してほしい。両親がなくなった今、社会保障負担がばかばかしい。自ら、貯蓄したほうが良い。(40代男性)
- ・政治、区役所はなにもわかってない。本当にバカにしている。在宅介護がどれだけ大変なことか……。私は自殺未遂を何度もしている。
- ・ある種の病気や障害について、極端なイメージが先走りして取り上げられたりしています。社会の根強い偏見を、根気強く修正していく官民挙げての活動を望んでいます。
- ・確実に社会保障のために使われるのであれば、増税(消費税)でも仕方ない。(30代女性)
- ・庶民が入れる介護施設があまりにも少ない。低所得者は狭い家で死んでいくしかない。(60代男性)
- ・健康保険料が高い。70歳以上は無料に!!(70代女性)
- ・自分の親が助けが必要となったとき、現在の自分の収入で不自由なく生活させてあげられるか心配。また自分が年老いたときも同様。(30代女性)
- ・正月早々、胸の苦しさを覚え通院したところ、検査が必要といわれ、カテーテルをいれての検査入院になった。幸い心配なしと言われたが、70520円の支払いをした。もし長引く入院だったらいくらになっていたのかぞっとした。安心して医療が受けられるようになってほしい。(男性)
- ・食事援助にきてくれていますが、人により柔軟さが違い少しとまどってしまう!!(40代女性)
- ・母が祖母の介護をしていて、サービスを利用しているので、間接的にはかかわっていますが、(ときどきお迎え等)現在の介護福祉が実際どういう状況なのかみえてこない。障害者福祉は特に。
- ・上3つに関しては不安、心配だけ政治がこんな按配だけに、一体、自分の将来はどうなんだろう。(男性)
- ・ムリと思うが少ないお金、経費でよいサービスを望むのが収入の少ないものにはダメかな。品川区ならできると思うが。(60代男性)
- ・①医療と介護の人たちの収入と、保険などの法律の保護。②心身の健全に交流できる暴力と暴言のない専攻分野を学べる成長と保護で安心した時間が大切。③費用も安いほうがよい(国の負担で)。(女性)
- ・仕事ができなくなったら、生活面がどうなるか?年金(国民年金)では家賃も払えない、安い給料では、老後の生活費もためることができず、どうなるかと考えると不安がいっぱい!(50代女性)
- ・肝炎の治療を受けていますが、医療費(検査、薬など)一ヶ月に1万近くかかります。助成が

受けられるようお願いします。(女性)

・私は医療スタッフで、現場で働いております。福祉の方が医療を受けるのは良いのですが、あたりまえとされている方が大勢います。選択方法や途中の生活ぶりを把握しておいてほしいです。毎日のように病院に来て無料受診、投薬があたりまえとは、税を納めている私たちはやりがいをなくします。(30代女性)

・年金だけでは暮せない額なので、老後がとても不安。もしもどちらかが寝たきりにでもなったら生活できない。(女性)

・サラリーマンばかりから税金をとり、「節税」している人がいるのは不公平。消費税でまかなうべき。(40代男性)

・現在、収入がないので、これからどうしたら良いかわかりません。(男性)

・税が高いなりに、北欧のような見本になるシステムができてゆくなら、多少の増税はしかたなく、それを活かしてほしい。(50代男性)

・財源は国の予算の組み換えで充当すべきと考えるが、制度自体も一律ではなく個人が自分の健康状況から選べる、保険料と支給とが異なるいくつかのコースを設定してはどうか(民間保険を例に)。(70代男性)

・今年3月で後期高齢者(嫌な言葉ですが)になる。直ちに後期高齢者医療制度は廃止すべきです。(男性)

・後期高齢者医療については再検討すべき、少子化の将来を踏まえ、また、高齢者の就業環境の改善もふまえた点からも検討すべき。医療費は健保の破綻などのことから増加するのはわかるがもっと検討の余地はあると考えます。高齢者の介護サービスや特別老人ホームなどで格差社会化が見える、個人資産の大による良い施設への入るのはもちろんわかるが、今後一般的には施設の増すとこ人気が高まる上で民間などでの格差をうまないようにすべきでは。(男性)

・効率の悪い財源利用をやめてほしい。国民の健康義務を設けるべき。原因になっていることがタバコ、酒の場合やることじたいNG⇒ペナルティ。(男性)

・在宅基本の政策は大変な不安を感じるので反対です。在宅サービスは家族に多大な負担を強要します。またボランティア頼みの福祉は間違っています。(女性)

・私の娘(長女)は知的障害者で(愛の手帳2度1級)です。将来的にいろいろ心配あり。よく知的社施設は地方に多く、障害者本人の意思に関わらず地方へ回されることが多いとのこと。できれば生涯品川区で生活できればと思います。また、青年後見人制度ですが、今の世の中金、ことなかれ主義で、よく後見人が障害者の財産を横領するなど多発しています。このようなことがない思いやりのある世の中に。

・Jの補足。被保険者の払う料金は1割なので安いように見えるが、実際はサービス業者にその10倍の金額は保険から支払われていると考えると高いと思う。一方でヘルパーさんの労働条件が良くないことは知っている。ケアマネのプランニング料は高すぎると思う。在宅支援については根本的に体制や料金を見直す必要があると思う。(50代女性)

・とにかく老人大国になることは必須だから今からでも空き住居、アパート、商店、学校などをどんどん利用してそれによって今仕事のない人たちもかかわって収入に少しでも繋がっていくのでは?(60代女性)

・所得に応じて減税するようなシステムは考えられませんか?あくまで減税が良いと思います。今のように給付で渡すと全く税金を払っていない人ばかり得をし、まじめに働いている低所得の人が損をします。(40代)

・私は今薬局勤務です。後期高齢者と呼ぶ必要があるのかといえないと思います。保険証を使うとき「自分は老人と認識させられてガックリする」と言います。「君は老人なんだよ」と国から言われている様だ。年を重ねれば使ってきた体が故障するのは必然的と思いませんか?そういう人達に追い討ちするように負担が重くなってはいけないと思います。年金生活をするってことは社会からは「不要だよ」と言われていることです。社会からの収入が一人前でない。雇用面でそうなっていますよね、そこのところどうお考えですか?(女性)

・介護保険料は所得の少ない人は軽減すべきで高所得の人に負荷させるべきです。(男性)。

・本当に増税して福祉に利用するのなら反対はしないが、今の政治はあてにならない。(60代女性男性)

・入所待機者は増える一方。民間の施設も増えてきているが、普通の人はず入れないでしょう。待機者全てがというのは無理でしょうが区の施設が増えればと思います。(20代)

・27歳の孫娘が知的障害者で軽いパートで働いており、父母の受け渡しの元に幸い暮しておりますが、父母亡きあとの福祉に心配しております。日本共産党にぜひあたたかい障害者福祉をお願い致します。(女性)

・年間10万以上も支払っていても足りないなんて本当に無駄づかいをなくしてから消費税増税を考えてほしい。(30代女性)

・税金からの医療費負担が毎年大きくなるのが心配。(男性)

・医療費が高額になるのはしかたないと思うが、本当に必要な所に配分される政策をとってほしい。大学病院の研究者と町医者との収入の差にはあきれてしまう。仕分けができる政党に期待する。(50代男性)

・老人介護の急増に対し、効果的な施策を求めます。(30代男性)

・メディアによる悪い面だけの報道、従事者のケア、故障後の仕事や保障。(30代男性)

・〜と聞かれるとだれでも同じ答えしか出ない。質問が幼稚です。(男性)

・施設に入れないと困る費用も心配。(30代男性)

・私は今足が悪くて病院に通っておりますが少しずつ悪くなるとのことで、現在追行を遅くするだけでだんだん悪くなるそうです。歩けなくなったら施設へ入りたいと思っておりますが、その時の費用は年金の額によって決めるようにしたらいいとおもっておりますが……。ちなみに私は今介護保険を払っていますが、年金から引かれてきますが年金だけではやっていけないので息子2人から援助してもらっています。(80代以上)

・社会保障特定の消費税は反対、社会保障に必要とどんどん税が増えてもおかしくない。税

の使い道はバランスだ。(30代女性)

・直接税を下げ、間接税を上げてほしい。(男性)

・生活保護を受けています。(女性)

・1人暮らしなので心配です。(女性)

・年金の扱金よりも受給額が少なくなることが不安である。(男性)

・私は難病他いくつもの病気を持っており、毎年50万ほどの医療費を要します。年金のみの収入ですが、家賃を払い、医療費を払うと、光熱費等を含め1ヶ月5万程度の生活費です、病院通いの自分が言いにくい、なんと国民健康保険料の支払の高いことか。介護保険料の割合が高いことか。身体障害者であっても、両保険の割引制度的なものが何一つない、障害者控除のみだが0に等しい。実に行政は悲しい。(60代男性)

・体操教室、カラオケ、ダンスのサークル等、現在を楽しんでおります。でも病気をしたり足腰が不自由になったとき、今の年金では貯蓄をするほどのゆとりはありません。これから先の生活に大変不安を持って生活しております。子どもは北海道、兵庫県とそれぞれ家庭があり、あまり迷惑をかけたくないと思っております。(70代女性)

・増税してまで社会保障を手厚くすべきではない。そのようにすると、増大する社会保障のたびに増税することになる。医療費を4割程度にしたり、整骨院などの保険適応を減らしたりして対応すべき。特に医療保険の半分を高齢者だけで使用している実態を改善すべき。あと生活保護者の無償なものも改善すべき。(30代男性)

・それなりの金額を納税しているつもりだが、頼りにできそうもないことが腹立たしい。(40代女性)

・民主党政権になって、税金が何にどのように使われているのかを徹底的に洗い出し、国民の前にガラス張り状態にしない限り、福祉面の改善は結局は挫折すると考える。増税策をとっても、ザルに水を注ぐようなもので、計画案と実行の結果の整合性が合うのか非常に疑問である。(40代女性)

・保障がしっかりするなら消費税などの増税は賛成。でもどうしてもいいことや無駄なことに税金が使われることが多い気がして納得いかない。(30代女性)

・薬代が高い。(60代)

・福祉を仕事にしたいと思えるような給料を整備された制度が必要だと思います。(60代女性)

・子どもはあてにならない。(女性)

・医療費、健保、長寿医療等、高い料金払っている。(男性)

・一番恩恵がないのが私たちの世代。障害もなく老齢でなく、親もなく、頼れるものもない人間が一番恩恵がない。でも、公助の負担はあるもっとほかの方が負担あってもいいと思う。(男性)

・高齢者社会のためにこれからますますみんなが医療にお世話になる傾向があるので、全人口が安心して医療にかかわるようにしていただきたい。また介護についてもいつ自分がお

世話になるかわからなくなるので充実してほしい、障害者福祉も最大の関心があります。

・社会保障全体が自分にとって年をとっても病気になっても安心して暮せる精度にしてほしいものです。その上で税の負担をするのであれば増税も含めて考えたいです。今の日本は「低福祉高負担」の国といわざるを得ません。(男性)

・介護が必要になった際に入居できるところをもっと多く作ってほしいし、その際の費用も少なくて済むようになれば多少の介護保険料も惜しくないように思います。(男性)

・65歳以上は医療費無料にすべきだと思います、年金も保証そうすれば、子ども、孫のためにおばあちゃんはお金を使います、流動します。(60代女性)

・安心して、老後を暮せる施設がほしい。多少高くてもいいので、介護と一体になった施設がほしい(病気になっても同じ場所で世話を受けたい)。(40代男性)

・どこかで得をしている人の話を聞くと「何故」となる(すべてに関して)。(女性)

・介護老人施設に入居当時3か月(本当は6カ月ははず)しか入居できないから、すぐ次の入居施設に申し込みするようにと強く言われます。申し込みするには健康診断書が必要で保険が聞きませんので2万円ほどかかります。申し込んでもなかなか入居できないので、実際入居できた時は目に提出した診断書は半年以上たっているのもまた取り直しでまた2万円かかるのです。年金生活者には大変な負担です。(70代女性)

・介護の従事するほうの報酬があまりにも低すぎる。だから、誰もなり手がいない。外国人の従業者を受け入れるのは間違っていると思う。だから誰もなり手がいない。外国人の従業者を受け入れるのは間違っていると思う。(男性)

・①国会議員の人員カット②同賃金カット③公務員の賃金カット④同ボーナスカット してから消費税をUPすること(品川区にもやるべきだ)。(60代不明)

・老人長生きしすぎ。金もっているのに使わない。(50代男性)

・年令が増えるにしたがって病気、怪我が多くなり、医療が高くと、病院にもいけずにいる方を見聞すると淋しくなります。年令、収入によって医療の額に差をつけてもいいのではないのでしょうか?(60代女性)

・健康は自分で維持する。(70代男性)

・聞くとところによると、医院によっては、どうして3ヶ月ごとに病院を変えられてしまうのでしょうか?

・安心して人々が暮せる社会になってほしいと願います。(30代女性)

・場所をもっと多くしてほしいです。(60代男性)

・20歳までの重症児施設を品川区内に一棟でも造って下さい。介護疲れで限界を感じています。都の施設は3~5年待つ現状。ひどすぎます。(40代)

・まずは議員の職給を見直し、税金で給与を受けている人々の見直しを行ってから、増税をして下さい。私から見れば全議員の給与は手当でも入れて取り過ぎ。(60代男性)

・行政の無駄、人件費、事務所建設費、維持費に金がかかりすぎる。国家公務員、地方公務員の給料を30%~50%低下させること。年500万程度でよい。そうなると、もっと「何故?」

- という頭を使う。今は民間、自営業の 1/5~1/10 の働きしかしていない。(70 代男性)
- ・福祉をサービス化したのがそもそもおかしい!自立という名の放棄、許せないです。福祉は国が行う、担うべきです(保育教育も含めて)。(30 代女性)
 - ・あまり病院にいかない健康な人の保険料は軽減すべきである、その際窓口負担は重くなっても仕方ない。(40 代女性)
 - ・厚生労働省の発想は夫婦子ども 2 人の標準モデルから抜け出していない。専業主婦に老親の世話をする時代は当の昔に終わっている。夫婦共働きの場合は老親は施設介護に頼ることになるが、民間施設は高額で手が出ない、公的施設の充実が必要。(40 代男性)
 - ・私の身近にデイサービスが来るときだけ、自体に障害があるふりをして、休日等は 1 人で、ぴんぴんして遊び歩いている者がいる、高齢でも働いている者とのバランスが取れない。(70 代男性)
 - ・現在の国の各省庁がベターであるとは思いません。各省庁組織等を時代と共に変えていくことが大切。(70 不明)
 - ・障害者・生活保護を受けている方で、本当は正常な方なのに国から援助を受けている方がいるので、取り締まってほしいです。同じく都営住宅に収入などをごまかして住んでいる人も多いので取り締まってほしいです。(30 代男性)
 - ・国民健康保険料が払えず、病院にいけない。(30 代男性)
 - ・医療・介護はすべての人にかかわるおそれがある問題なので、国の支援がもっと必要だと思う。(30 代男性)
 - ・自営業は年金少ない。
 - ・まず費用のことです。健康で生活するため、食生活のみ考えられませんので、日用品、食料品、しかお金を使えません(年金がだんだん減ってきています)。(80 代以上女性)
 - ・ヘルパーさん etc、医療福祉現場の人への待遇あまりにも低く、モチベーションを下げ、ひいてはサービスの質の低下に繋がる悪循環が生まれてきているように思います。区役所 etc は毎年予算を年度以降、減らされるのが嫌で、最後無理やり予算消化している現実がある、増税の前にまだまだ検証すべき点が多いと思います。(30 代女性)
 - ・特養ホームを増やして。(男性)
 - ・1 人暮らしなので、今は元気に働いていますが(介護保険も払っています)、介護保険の利用法、また認知症になったとき。(女性)
 - ・母が 87 歳、私が 65 歳、老老介護になりつつあります、もう少し介護サービスを受けたいと思いますが悪くなる一方です。
 - ・今の世の中、共働きの方が多いと思いますが、親の介護、問題はいつやって来るか分かりません、公共施設の利用ができれば子業者も減りいいのではないのでしょうか?(50 代女性)
 - ・一人暮らしだから貯金もなく、仕事ができないとどうなるのか?不安。この先よくなる気がしない。(40 代女性)
 - ・現在の社会情勢では一般の国民も大変苦しい生活状況になっているため、老人、障害者の

方々にもその時の状況に応じて、対処していただきたいと思います。子ども医療である年令まで無料化されていますが、夜間の救急では負担金を支払ってもらい後で返金処理できる体制をとってほしいと思います。救急にならないような病院や、夜間の救急だけを利用する人が多くなっているため。(50代女性)

- ・収入が毎年減少していて不安だらけで低所得者として心配だらけです。(70代男性)
- ・特養ホームを増やしてほしい(低料金であって)。(40代男性)
- ・医療、私は身体そのものは元気ですが、ただと言うますか年齢の関係もありまして夜中に、尿トイレの回数が多くなり、なかなか睡眠が取れなくなりました。朝起きるのも辛く遅くなりました。医療費の支払もなかなか難しく心配です。介護、サービス利用料、部屋は狭く汚れ何も無く(移住区の高齢者住宅に申込中、順番待ち)、本当に心配です。(男性)
- ・欧州なみに消費税30%に引き上げて、老後は医療、教育、介護、福祉、衣、食、住、は行政で世話した方が望ましい。(男性)
- ・年金は少なくてもいい。苦もなく暮らしていければよい。(30代男性)
- ・社会保障の財源は防衛費の見直しで補うべき。(30代女性)
- ・病気になったときに介護する人がいるか心配です。(60代男性)
- ・社会的に高い地位にあった高齢者は入院先においても、いくつも入っている保険で、おつりが出たなどと話しています。(60代男性)
- ・お金ばかりとって、それに見合ったものが安心して受けられていない。これからますますそうなると思う。(40代女性)
- ・後期高齢者制度は1日も早く廃止して下さい。介護保険料も高すぎます。毎日笑顔で過ごしたいです。(60代女性)
- ・健康保険の将来について不安!!(男性)
- ・消費税を増税したところで、今のお金の使い道が不透明なときに何に使われるのか本当に社会保障に遣われるのかわからない。事業仕分けだけでなく、もっと削れる場所があると思う。そこをもっときちんとしてからの増税なら賛成しますが。(女性)
- ・保険料、介護料等が高く感じるのは払った分が本来の目的以外の用途に使われたり公務員が着服したりしているから。(50代男性)
- ・福祉は自治体や国が税金で行うものと考えます。ヨーロッパ諸国のように社会福祉全般を国や地域でこれを早くできる品川区区政にしていきたいと思います。税金の使い方を正せばそんなに難しくなく実現できることかなと思います。いつまでも安心して住み続けられる品川区を作らなければなりません。(女性)
- ・私は若い頃、人の3倍働かなければと老後に向かい頑張って来ました。お陰様で何とか賃貸住宅を持ち、年金と家賃収入で暮らしております。一方税金は国家資産税、住民税、特別区民税、加えて主人からの相続税確定申告による所得税個人事業税と“税”、“税”、“税”で身動きできない状態です。それに比例して国民健康保険料、介護保険料等、全部比例して高くなります。(80代以上)

- ・社会的に弱者といわれている人たちに手厚い保護が必要だと思います。このままではますますひどい状況が予想され、温もりのある政策、区正が求められます。(男性)
- ・病院に行くのも考えて行きます。これで病院代と薬代でこんなに支払いがあると思うと一回飛ばしで行っています。老人は病院代で大変です。消費税を上げず、昔のように高級品(旧作品税)を復活させたら良いと思います。金持ちはそれでも買うことができるのですから。お願い致します。共産党を応援しています。(70代女性)
- ・障害者児童のいる家庭です。健康な厚労省の方が考えた自立支援法など実情に合っていないし、実際に現場を見て利用者である障害者の意見を聞いてから考えてください。机上の議論など要りません。高齢者に手厚く(お金持ちも多いのに)真の弱者である生まれながらの障害者に厳しい現実の日本を共産党が変えてくれることを切に望みます。障害者福祉施設はどこも満杯で卒後の行き場がありません。せめて各区に一か所でも福祉施設の建設をしてください。道路に回すお金はその後でも十分と思われれます。(女性)
- ・稼働人口減で、このまま制度が維持で来るのかが心配。未加入、滞納者も結局最後は税金で保障することになるのがなんか納得いかない。(男性)
- ・消費税が皆平等だと思う。(50代男性)
- ・若年層が負担できない仕組みであるのは間違いないので、その負担を高齢者が負うべき。高齢者の社会保障切りすてもやむなしという現実路線を提案してほしい。(30代男性)
- ・日本共産党に頼っていれば安心です。(男性)
- ・高齢者の医療、介護保険料がどんどん年金から引かれていくので、大変困っている。私は遺族年金者です。(70代)
- ・Iの質問だが、医療費(病院)に払う費用は適正だと思うが、薬代が高い。Jの質問だが、高齢者になったときサービスを受けるかどうかかわからないのに払うのがおかしい。Nの質問だが、他のために使わず、保障のためだけなら仕方ない。(女性)
- ・義父(2年前に死亡)が11~8月の間、3つの病院をたらいまわしになりましたが、そのあたりに不明朗な問題を感じます。(男性)
- ・今の状況では払い損になる。特に社会保障の意思を感じない。(30代女性)
- ・福祉の名のもとにとられるものが多く、その実がない。増税ばかりで見返りが無い。税源移乗されているはずなのににもかわらない。(50代男性)
- ・我が家にも障害をもった子どもがいます。おそらく将来的に自立ができるほどの就職は難しいと思われれます。一生扶養から外れることなく、その上利用料負担や増税となるとかなり厳しくなると思われれます。また、支援校がある高校までは良いですがその先、卒業後の行き先が有るのか不安です。(男性)
- ・医療、介護、障害者、老人福祉見なおす時期が来ている。日本航空事業、沖縄基地より先だ。(男性)
- ・個人病院は大病院に比べて1回の支払いが高い。大病院はこれでやっていけるのか?いつも心配している。個人病院はいつも混んでいて、医師と話す時間が初診のときのみ。あとはナ

ースが薬をいるかいらないか聞いて、事務の人から処方箋をもらうだけ。流れ作業のように患者を扱い数をこなし、知人の医者は大病院は給料が安く、労働時間が長いので子どもを育てられないので開業にした。そしたら給料が4倍になったと聞いたが、これでは大病院は一体どうなるの?大病院がもう少し赤字にならないのか。個人経営のみ優遇されているのは患者にとってもきちんとした本来の医療が受けられないと思う。(50代女性)

・増税は賛成。ただし北欧のように福利厚生制度が件子で、税の使い道がクリアなケースのみです!心療内科の遅れは歴然(日本)。的外れな薬事法改正(ドラッグ・ラグ根絶)。(30代男性)

・安心して老後を暮らせるのであれば、増税も仕方がないと思う。

・増税するならちゃんと保障してほしい。(20代女性)

・体系的な再分配政策を打ち出してください。現状では中間層から支持を受けにくい。中間層は馬鹿ではありません。(女性)

・弱者を保護する観点からの老人医療、介護保険制度であると思いますが、高齢者の割合があまりにも大きくなり、社会全体や一部の負担が極端に増し、高負担感がぬぐえません。「高福祉・高負担」から平均的な「低福祉・低負担」を進めないと社会全体が崩れてしまう時期が来る可能性があります。(60代男性)

・医療費が高くて歯科やちょっとした風邪では病院に行けない。いらぬ検査費など(眼科・耳鼻科)が高額で、1回4000円以上かかるなど。せめて1割負担にしてほしい。(男性)

・介護は老人だけでなく、例えば産後の女性へのヘルパー制度など作ってほしい。(30代女性)

・税金がちゃんと使われているのか不透明。情報開示をわかりやすく、目に留まりやすくしてほしい。(女性)

・設問男性の「自立支援法」は障害者を持つ家族にとっては法律名が違うのじゃないかと思っています。「障害者負担法」です。確かに障害者団体や共産党の頑張りにより、負担はだいぶ減りましたが、まだまだ最低の生活・生存を維持できるものに対して負担を強いるこの法律には問題があります。(女性)

・この問題は税金が必要なもので、少々負担は仕方がないものと思います。(男性)

・うちの近く、木曜日やっている病院がほとんどないです。(40代女性)

・障害者のご自身のハンディを利用しすぎるのも問題だと思う。(男性)

・本当に障害者や社会保障に使用するならばしかたないが、それ以外のための増税は反対。(男性)

・病人、老人、障害者。困っている人の行き先を必ず作ってほしい。(40代女性)

・国民皆が支えるべきだと考えます。(50代男性)

・障害者が生活保護になったら税金を多く使ってしまう。その分その家族に援助ができれば暮らしも変わると思う。生活保護をとらなくても家族で守ってあげられる国の仕組みを作ってほしいです。(50代女性)

・年金生活になってからの不安が大きい。年金で医療・介護の受けられる社会になると良い

が。(60代女性)

・私事。枝つき手術と診断されている身。2ヶ月1万円の高い介護保険支払う身。せめて近くの医院に行くのが難儀で区役所にこの医院の行きだけでもお願いしてもらいたくて相談したら、有料一回2000円以上。その人によって医療1割の人の値段と言われてやめる。おかしい。

緑内障も手術している。血尿の薬。1ヶ月2回医院に行く身。(70代女性)

・増税しても良いので医療の無料化、学費の無料化など、社会的に貢献度の高い目的のために使ってほしい。

・国の予算にも限界がある。高齢化が進む現在、税収入、法人税が赤字でもある程度収めることが必要。だが先行き増税も止むを得なくなるが、止むを得ないと思うが食料等、一般日常生活に、必要なものは現行で区別すること。

・民主党に政治が皇太子、自公と違い弱者に思いやりが見られる鳩山政権に期待する。学会は口先で言うだけで、自民と組み弱者イジメをしてしまった。

・増税の前に年金などの整理をちゃんとしてほしい。国民が納得できる政治の透明性のあとの増税は賛成。(20代女性)

・社会の本当の弱者である障害者の権利は健常者のそれに勝る。(女性)

・料金が高くて病院に行かれない。一人暮らしの年配者たちに気を配ってほしい。(女性)

・基本的には保険料の引き上げ、企業負担金の引き上げが必要。(50代)

・消費税が始まる時、これからお年寄りが増えるので、そのために必要と始まったが、現在そのために財源が使われているとは思えない。約束違反。(60代女性)

・上記の費用がどんどん高くなって行くことを危惧しています。(60代男性)

・老々介護の場合、非介護者は必死でがんばっている。介護者の方へも援助があってもいいのでは?働きながらの介護には限界がある。家族の応援にも限度がある。若い頃にはそれなりに税金は払っている。老いたら自分で何とかしろ!これはないと思います。(女性)

・キチンと収支を制御してからの議論であるべき。今は双方がでたらめだから断固反対。(50代男性)

・増税し、その財源が有効につかわれ、福祉が充実、安心して暮らせるなら良いが、ちゃんとやれる気がしない。増税だけでなく、事業見直し、削減をもっとやらないと。入居施設(安価)を増やしてほしい。孤独死とか寂しすぎる。入りやすく、楽しいところだと高齢者にアピールしてほしい。(女性)

・介護が近未来の最重要課題なのでもっと重点を置いてほしい。施設の充実(量・内容共に)、職員の確保、デイサービスの充実、在宅介護者が利用できるサービスの拡充等、真剣に考えたい。同居している親子が減少していく中で、老後の親の面倒の心配が一番大きいと思う。(40代女性)

・介護・医療等に携わる方々の報酬が相応になるように願います。皆さんが安心して過ごせる北欧のような福祉社会へ。(30代女性)

・医療・介護・福祉施設に国から補助金を出すべき。国民が安心して施設を利用できるように

してほしい。(20代男性)

・これから少子高齢化で老々介護も増えてきます。老人ホームもっと増やしてほしい。また、介護の仕事を私もしていますが、重労働なのに給料が安すぎるので続かない人が多いです。働きに見合った給料が与えられるべきです。(女性)

・医療費が1割帰ってくる書類について。1枚98円でもはがき代がもったいないと思う。半年に一回ぐらいで、6ヶ月ではがき1通でよいと思う。(女性)

・高齢者が医療費が無料だったころ、お年寄りはお金をよく使ってくれました。子のため孫のためと……。景気も良かったです。病院がお年寄りの集会所的になっていたころ、なんとなくお年寄りは元気だったような気がします。高齢者が増えて困る次代が来ることは20年も30年も前に分かっていたこと。その対策を自民党はとってこなかった。腹が立ちます。(50代男性)

・私共、つれあいの場合は、7、8年前歩行困難で終身お世話様になれるところとして八王子を選ばざるを得ませんでした。タクシーは片道17700円。安価でも往復4400円でした。1週間に2回以上の通院でした。子がなく、私が元気でいなくてはならぬ故の交通費でした。マンション分をもっと老人向けにしていただけたらと見上げることしばしばでございました。78歳の老婆ゆえ、アンケートの中での手前勝手をお許してください。(70代女性)

・すべての人が満足する世界はありえない。基本は一人ひとりが自分に責任を持ち生きていく世界だと考える。(30代男性)

・身体不自由になったとき、安くて安心な入所できる介護施設を近くにたくさん作ってほしい。輸出産業、第二次産業が主な産業から、第三次産業に移行させなければならない。そのためには施設で働く人の賃金をあげるべきだ。大規模公共工事の必要な時代は終わったと思う。(男性)

・国民はこの内容の意味のあり方を深く知るべきである。知らせる方法も考えなければ人間の自立は依存に変わり、介護を必要とする人を増やしてしまうと思う。介護利用者はヘルパーを使用者と思って使うという言葉をつかっているが、ヘルパーは自分の分身であることを自覚するべきではないか。介護を受けない方法、対策を普及すべきである。それが自立支援と思う。(女性)

・大病したときも保障があるような制度になってほしい。そのための増税はしかたないと思う。(30代女性)

・体の機能の弱っている人を健康な人がフォローするのは当然のことだと思う。殺人事件や自殺で「病気を苦しむ……」という言葉をよく聞くが、病気そのものとはともかく病気になる=経済的に困窮してしまうという図式があるのではないかと思う。また要介護の人が家族にいとフルタイムで働きに出るのが難しくなるのかもしれない。利用する側の負担は軽いにこしたことはないが、サービスに携わる人たちの賃金が資格があってもそれほど高いとは思えないし、資格がないとバカみたいに安いので、トライしようと思う人が減るのは当然だと思う。その辺で行政のフォローが必要(無料の資格取得カリキュラムなど)。(女性)

- ・介護の施設入所するとき時間が長いので困っております。
- ・昆虫でも自分のためだけに生きているものはいないのに、人間は自分のことを中心に物事を考えているようなので、ちょっと見方を変えるべきではないでしょうか。子どもでも困っている人がいれば助けるのは当たり前なのに。(50代男性)
- ・良くわかりません。(女性)
- ・警備業・清掃業・タクシー運転手等1日あたりの就業時間で拘束されるのが10～11時間。タクシーは24時間。支払われる賃金は80時間分、休憩2時間～2時間30分というシステムだが拘束されている時間は特別給料も出ず手当てもない。営業主は本人・家族・身内は拘束なし8時間勤務、しかもボーナスあり。正社員と派遣に差がありすぎ。正社員等は上から目線で仕事もせずに口だけうるさい。(60代男性)
- ・本質を理解した対策が実行できていないため、無駄が多い。解決できていない。(男性)
- ・医療、介護、障害者福祉←こういうことを営利企業として営むことに疑問を感じる。(70代男性)
- ・福祉の税金をもっと低くして芸能人など高額な給料の人からもっと税金をとるようにしてほしい。(30代女性)
- ・薬代が高い。(60代女性)
- ・障害者用のトイレの増設、現在不足しているので外出の場合にさがすのに苦勞する障害者用トイレの設置場所の地図をつくり障害者に配る。(男性)
- ・本来出すべき筋合いでない金を出さない。本来出すべき金を出させればいいのか?日本を一体どうするつもりか?貧困大国をアメリカと競り合い??マイケル・ムーアの言葉「アメリカのまねをしないで下さい!」(50代男性)
- ・インフルエンザのワクチンが病院によってまちまち、国民に必要であればもうけを減らすべきでないか?日本は薬社会に頼りすぎている。体に有効な代替医療を検討してみてもどうか。(30代女性)
- ・消費税が上がるのは仕方がないが。(40代女性)
- ・増税の前に無駄をなくしてほしい。(30代女性)
- ・国保は所得税より高い。おかしくないか。医者には20年かかっている。(50代男性)
- ・消費税が何に利用され、私たちの生活がどう変わるのか、明白に説明していただきたい(スウェーデンのように)。(30代女性)
- ・私は生活保護者ではないが、医療費3割負担を廃止し、無料化もしてほしい。非課税世帯である。(男性)
- ・まず税金を払っている人間が食えないのに、障害者に甘すぎる。親、兄弟がいる間は行政ではなく、家族に見てもらえ。支援はいいが、度を過ぎているところがある。一人で生活できない一人暮らし等。朝の時間帯に車椅子で区道の真ん中を通る等。(男性)
- ・今後自分達の老後(1人のため)介護等不安。就職のない人(派遣村など)、仕事がないなら介護の仕事をする(仕方なし)。覚せい剤をやった人が更正するために介護の仕事をする人が多

いようです。こういう方々に老後をゆだねる、お願いするのは私自身嫌です。また、不安です。ボケたらお金を使い込まれるのではという不安もある。

・障害をもっている一人です。中国を見習うべき。日本にはその様子が多くあります。共産党を知恵を発揮すべき(70代男性)

・消費税の増税は社会福祉の目的税にする(子育て支援、保育園から高校までの授業料等の無料化も含む)。(男性)

・病人はその日に不便なのに、福祉課やケアマネがきてから介護認定が降りるまで日がかかりすぎる。(70代)

・将来は心配です。(30代男性)

・健康保険料 1割負担と 3割負担での金額に幅がありすぎる。便利に割合表示をしてもらいたくない。1000円と 3000円の差を感じなくなる。(70代男性)

・長いこと障害者の福祉課の方でサービスを受けていましたが、年齢と共に介護保険のほうに自動的に移動されました。子どもの頃から障害をもって年を重ねると、健常者が自然に年齢を重ね身体の機能が衰えるのとは異なります。同じライン上でサービスの審査をすることに疑問を感じます。今、支援 2 のサービスを受けていますが、毎年更新のたびに「今年切られるのでは……」と不安を感じています。障害をもって年を重ねた人と健常者で年を重ねた人と審査法を分けてほしいとあります。(60代女性)

・特養をもっと増やしてほしい。60歳以上の人の生活をよくしない限り、世の中は活気づかないと思います。(60代女性)

・70歳以上で 3割負担は重すぎる。1割を希望いたします。年金では病院に行けません。(男性)

・弱者に手厚い政策をお願いしたい。(50代男性)

・自然の治癒力が減退し、食欲もなくなれば尊厳死したい。(80代以上女性)

・民主党が公約した、後期高齢者保険廃止は実行する兆しなし。御党で是非考えてほしい。老人から金をむしりとり!!許されますか!?(70代男性)

・増税については公務員の法改正(例えば1円でもとったらクビ。そして曖昧な責任逃れ)そして議員の削減。ムダ使い等々をしてそれでも足りなければ。ダメダメとっていても良くないから増税という意味です。

・老後、安心して暮らせるように早期からの社会保障を実施すべき(積立や税金)。(30代女性)

・ケアマネージャー、介護福祉士など多くの職種ができましたから、サービス制限優先と肝心なときに頼りになりません。ときどき禅問答をやっているようで問題解決につながりません。役所と介護サービス事業者のために働いているようで、要介護者のために働いてもらうことを希望します。ちなみに北品川はジャパンケアサービスに割り当てられています。(80代以上)

・増税しない場合の税収は他に何が考えられるのか?法人税はこれ以上高くできない(世界でも高い)。個人の金持ちの所得税 UP。(50代女性)

・国会議員、都、区の人たちの人数を多少削減し、作業費をなくす(年間研究室、海外視察)。毎年支払われるお金を戻すことがない。民主党の事業仕分けをして良いが、本人達の削減はなにもしていない。これはおかしい。(60代女性)

・特養の入所ですが、知人の生活保護を受けている方は生活保護受給者は対象外と、高齢のケースワーカーに言われ、申請書ももらえませんでした。生活保護の人にきいたら、保護を受けている人は生活保護の担当者に相談すればよいと老人の担当係長が受け付けないとのことですが、これは老人法律違反ではないのでしょうか。また、区の幹部の人に聞くと、生活保護は国の補助金が高いので、区の持ち出しが少ないけど、特養は全額区の持ち出しになるので、生活保護の人は入れないとの区の方針と聞きました。高齢の担当の野口係長さんと田中ケースワーカーは違法行ためをしています。(50代)

・医療保護を受けているため、ちゃんとした治療が受けられない。生きていても役に立たないし、迷惑になるばかりで、両親のところへ行くことが許されるならと思うときもあります。(60代女性)

・訪問介護ステーションの職員などにいろいろな事例を聞いて、区議さんが勉強してください。介護認定のことも……。 (女性)

・肢体不自由で障害者認定(4級)を受けているが特にメリットは感じない。社会生活上の不便さや利益を考慮して等級を決めるべき。(60代男性)

・医療従事者の人材不足、低賃金・サービスの低下。(20代女性)

・これ以上増えたら、働くのが馬鹿みたい。働かず、生活保護の人のほうがよい暮らしをしていたりする。(30代女性)

・弱者に優しい街づくりをしてほしい。

・今後、自分が介護してもらおう立場になったら年金も今より少ない額でしょうから自分で自分をまかなえるのでしょうか?(50代女性)

・ますます、高齢者が増える、荒治療の政策。根本から覆す。国際的なイベント廃止。勝ちもしないオリンピックやめるべき。その分車椅子身体不自由の使用する各種器具を作る。

・バラマキ政策をした後、財源確保を理由にした消費税増税には反対。バラマキの恩恵は一切受けられず、負担ばかり、年金も不安な将来……では納得できません。最後に弱者救済は社会秩序が乱れ、今後ますます財源不足となるのではないのでしょうか?(30代女性)

・障害を持っている人の通う学校や施設へのバスの送迎をなくしていく意味がわかりません。財源等とは関係なくあるのが当たり前。結局家族への体力、経済的への負担大。本人は在宅になり社会的にどこも行けなくなる。

・今後、ますます介護は増えていくと思われる。介護施設、介護士の不足が心配。特に、介護士はきつい仕事のわりに、賃金が安い。もう少し待遇をよくて介護士の確保をすることが重要。施設(事務)のピンハネが多すぎる?(50代男性)

・介護サービスは収入に関係なく平等に受けられるようにしてほしい。(60代女性)

・介護職への待遇が悪すぎる。もっと介護に手厚い支援をお願いします。給料がやすい、キツ

イ、夜勤がある。

- ・経済的な弱者は生きていけない社会と感じる。あらゆる場所で笑顔がない。
- ・従事者に対してもう少し手厚い保障を考えることが大事だと思います。金銭だけでなく、社会的地位等、イメージアップ等。
- ・現在、接骨院で治療を受けているが保険が使えない治療で困っている。種々の治療があるが保険が使えるようにしてほしい。(60代女性)
- ・将来、介護してもらえるかどうか心配。消費税についてはぜいたく品(宝石、高級マンション、家具など)対して増税。(60代女性)
- ・純粋に必要な部分に対する増税ならば致し方がない。構造上ムダを避けられないのなら正直生活に対する影響を考慮して増税反対の立場を取らざるを得ない。(30代女性)
- ・収入が年金など少ない人々から医療、介護料を徴収するべきではない。そのための負担増(消費税等)は仕方ないと思う。(20代女性)
- ・北欧(スウェーデン・フィンランド・デンマーク)のように高いリスク、高リターンまでは望まない。しかし、日本は低リスク、低リターン。中リスク、中リターンの日本になることが理想です。負担もしないのに高い理想の福祉社会を望むのは間違いだと思います。
- ・福祉では、税でまかなうのが基本であるから、消費税にするかどうかは別にして応分の負担は仕方がない。
- ・介護従事者の給料が安すぎる、ちなみに娘は社会福祉士ですが本当に安い。大学を卒業しているのにです。(60代女性)
- ・有料老人ホームがよくわからない。
- ・消費税を上げるのは仕方ないが、日用品と高級品の税率を変えたらどうか。(40代男性)
- ・要支援2でデイサービスを受けていますが、事業所が要支援2だと儲からないという理由で本来なら週2回行けるのに今は、週1回しか行かせてくれない。これは政治が介護会社従事者に給料もまともに払えない仕組みだからでしょう。もっと給料を上げてやってほしい。(80代以上)
- ・自分達が利用の立場になると、誰でもが心配なはずでは。長期展望、計画がなさすぎる。(60代男性)
- ・不足する場合、合理化の上で。
- ・区内に障害者が生活できる施設を作ってもらいたい。今、家族が他県の障害者施設に入所しているが遠くて困っている。(50代女性)
- ・社会保障財源は増税を考える政権に対しては、選挙ではNoの審判をしていく。(70代男性)
- ・早く土建国保に入りたいが、収入が少なく入れない。
- ・安心して受けられる医療、介護を真剣に考えてほしいです。現在は医師、看護師の人数が少なく3Kになっています。お金を医療、介護に使ってほしいです。
- ・介護はもはや、家族では限界です。1人の要介護者を看るのに1人の家族がほぼつきっきりとなり、生活は一変しました。でもお金がなければ、どこも頼ることができないし、預ける

こともできません。子どものように、保育園のような仕事している時間だけでも預けられる施設があったら良いと思います(デイサービスはいわば幼稚園のようで、時間が短すぎます)。認知症の人の介護はした人でないと分からないと思いますが、体が自由で元気な分、動かし、言うことは聞かないし、本当に精神的に追い詰められます。子育ても大変ですが、先がない分介護は楽しみもありません。子育て支援同様、介護支援金があっても良い(ホーム入所者以外、自宅介護者に)。(20代女性)

・夜間の介護、急を要するときに一番困ります。老老介護の身です。妻は要介護5ですが、今は要支援です。

・私は、薬局を経営しています。子どもや生活保護の方々の負担金0の方々が薬剤の無駄使いが多いのが現在の状況です。少なくともよいので負担金を発生させたほうが無駄は少なくなると思います。

・まず、元気な人間が多く存在するようなものを考える。

・介護サービスは、全額うんぬんより要介護度の認定に問題がある。

・今、50代全般ですが、年を取ったときのことを考えると、人に子どもに迷惑がかからないうちに早く死にたいと思ってしまいます。(50代女性)

・人口も減っていて、お年寄りが増え、このことにお金をかけられないとなると国がどんどんなくなると思います。

・他の税金を安くすること。

・1)増税イコール福祉にまわるどころか削られてきた分信用できない。(60代女性)

2)誰でも迎える老後、今まで税金を支払ってきた中高齢者をなぜ大切にできないのかと思います。「人としての道」を教えるべき。(60代女性)

・今、増税をして、自分が必要になる時にちゃんと国は負担してくれるのか。自分の子どもたちが大人になる時もっと増税をしないか。必要としている人にちゃんと国は負担しているか。まだ頑張れる人を甘やかせていないか。(20代女性)

・高齢者介護保険料が年金より差し引かれていますが、一方何に使用できるのかわかりません。

・国が第一にやるべきことは教育や弱者に対しての救済、国防などは後回しでよいと思う。官僚の天下りを止めさせ福祉や高齢者問題に取り組むべき。

・Kの具体が必要です。Kに同じ。(80代以上女性)

・税金の使いすぎに注意すべき。(40代男性)

・自己責任、行政に頼らず家庭内で解決する。(40代男性)

・生活していくうえで必ず必要な医療費はせめて以前のように1割にしてほしい。後期高齢者医療制度は仕組みからして許せない。高齢者になれば病院に行って当たり前、障害者が支援を受けるのも当たり前。当たり前のことにお金がかからないといい。(40代女性)

・人間が人間らしく生きていく最大限の生活を保障するのは国の責務です。税の負担を減らし暮らしを守って下さい。必要な所に必要なお金を使っていく政治を望みます。(50代女性)

- ・病院が年寄りの集合場所にならないような工夫をしてほしい。
- ・特養ホーム等の高齢者施設をもっと増やしてはどうか?(30代男性)
- ・増設しても良いが人間が生きていくうえで必要な食べ物飲み物などは非課税にするなら他のものは税金を上げて良いと思う。例えば、宝石、車など贅沢な物などは、もっととるべきである。
- ・インフルエンザなどの予防接種代が高い。家族4人分だとかなりの出費。(30代男性)
- ・増税しなくとも特別会計、特殊法人の縮小、議員、公務員の縮小と固定費の見直し、議員、公務員の待遇の仕分けをすべき。町工場、商店の親父は年収300万以下の人が多いのに。(60代男性)
- ・消費税についてはすべての人が負担するやり方として望ましい。希望としては、地域差(負担差額)、必要なもの(食品、主食副食)、無税としてなくてもいいもの。例えば肉でも高額のもの、アルコール、飲み物(水以外)などには消費税をかける。このやり方は米国では一般的に、カウンティ毎に程度が変わっています。ひとつのレシートの中でも無税(パン、野菜)か菓子ジュース課税と分かれてできます。可能であると考えています。
- ・一人暮らしなのでいざというときに福祉はあてにならない。
- ・消費税を上げて安心した生活が待っているなら、増税もやむを得ませんが、絶対に安心した生活などありえません。40代まで生きたのだから長生きと思っています。自分で命の期限を決めたらそこで年金を払ってくださっても……。決してこれからの生活すべて良くはなりません。どこが政権をとっても期待はしません。(40代女性)
- ・健康保険料の負担が大きい。(50代男性)
- ・北欧や仏などのように老後、年金、医療問題など保障されるのであれば増税も致し方ないと思う。(30代女性)
- ・介護職ですが、どうしてもよいこと自分たちの責任のがれのための書類など多い。介護保険課の職員の言動などをどこかでチェックする必要があると思う。
- ・医療従事者の安全と十分な休養を確保してから、医療を行うことをしないと事故もおきると思う。(40代女性)
- ・国の借入を消費税で返済すべきである。(70代)